

関西グローバルヘルスの集い(KGH) 2025年 1月16日 オンラインセミナー 第9弾「わたしの健康、わたしの権利」第3回 気候変動と健康

鹿嶋 小緒里

広島大学IDEC国際連携機構 プラネタリヘルス・イノベーションサイエンスセンター 広島大学大学院先進理工系科学研究科 環境保健科学研究室

2024年WHO世界保健デーのテーマ

「My health, my right (わたしの健康、わたしの権利)」

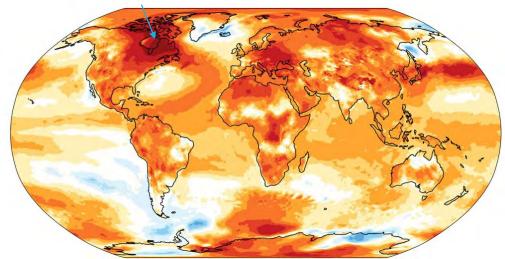


2024年はこれまでの記録の中で最も暑い年で危険な温暖化閾値を超えた

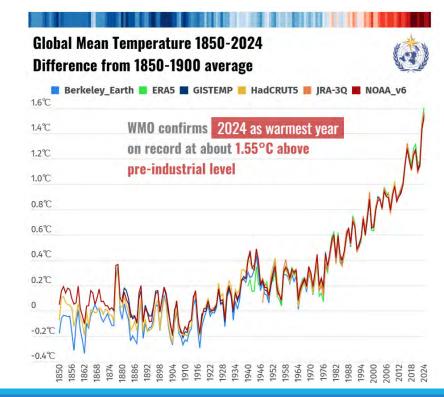
2024 was Earth's hottest year on record, passing a dangerous warming threshold

It's the first time the average temperature topped 1.5 degrees Celsius above preindustrial levels 平均気温が産業革命以前の水準より1.5度以上上昇したのは初めて

カナダ北極圏など、一部の地域で気温が5度(最も濃い赤)上昇



Almost everywhere around the globe, it was hotter than the average from 1991 to 2020. In some places, such as the Canadian Arctic, temperatures were as much as 5 degrees Celsius (the darkest red) higher. Blue colors mark the few regions where temperatures were cooler than the average. ERA5. CREDIT: C3S / ECMWF.



気候変動が人間の健康に与える影響

負傷、死亡、精神的 健康への影響

喘息、心血管疾患

悪天候

HA-PRO Y

大気汚染

マラリア、デング熱、 脳炎、ハンタウイル ス、リフトバレー熱、 ライム病、チクング ニア、ウェストナイル 熱

熱中症や死亡、 心血管疾患

猛暑

媒介生物 の生態の 変化

環境悪化

アレルゲン の増加

呼吸器アレルギー、 喘息

強制移住、内戦、精神衛生への影響

水と食糧 供給への 影響

栄養失調、下痢症

水質への 影響

コレラ、 クリプトスポリジウム症、カ ンピロバクター、レプトスピ ラ症、有害藻類の大量発生

CDC website:

https://www.cdc. gov/climateandhe alth/effects/defau lt.htm

改変



環境正義運動の展開

1982年 ノースカロライナ州のPCB廃棄物埋め立て計画が浮上

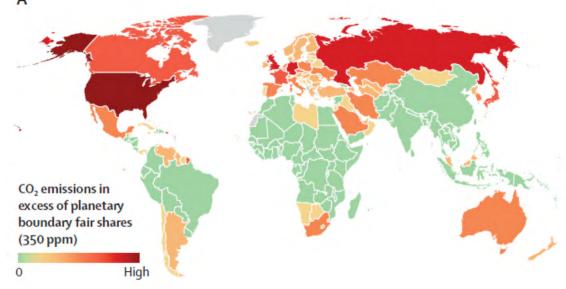
- 当時、PCB廃棄施設は貧困層が多い地域や アフリカ系アメリカ人が多い地域に集中
- 「恵まれた立場である白人のみにより良い 環境が確保され、不遇な立場にあるアフリ カ系の人々に有害な環境を強いている」
- 「環境人種差別」として問題化

PCB:ポリ塩化ビフェニルの略称。絶縁性、不燃性などの特性により、これまで幅広く電気機器などに活用されていたが、その毒性が社会問題化し、昭和47年以降はその製造がおこなわれていない。

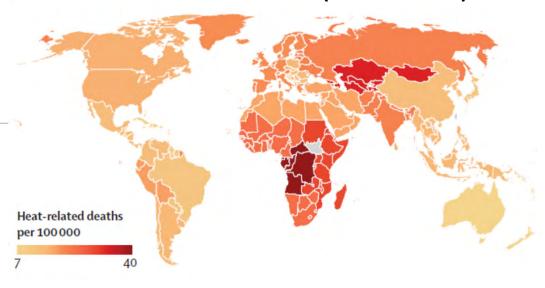


気候正義 (Climate Justice)

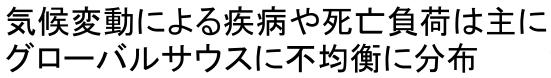
1850年から2015年にかけて CO2排出量がプラネタリーバウンダリーを超えた地域 1850-2015



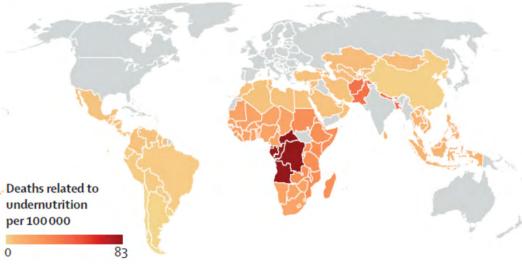
□ 2050年の熱波関連死の予測 (10万人あたり)



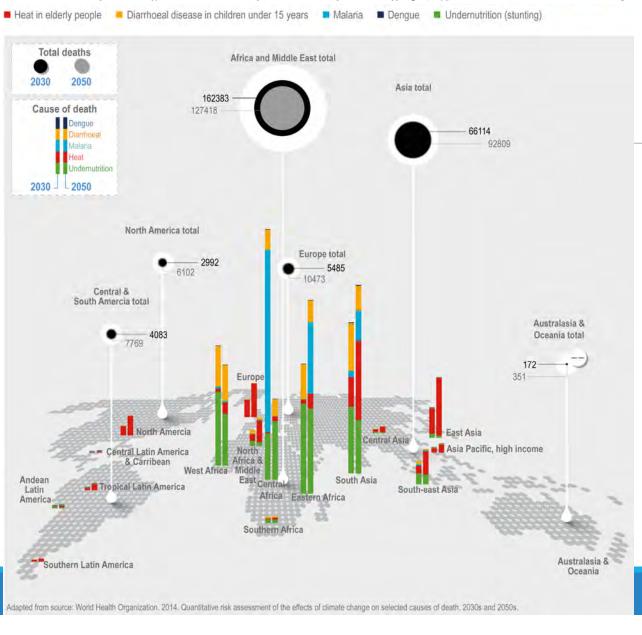
2050年の低栄養関連死の予測 (10万人あたり)



Deivanayagam TA, et al. Lancet. 2023 Jul 1;402(10395):64-78.



1961-1990年と比較した2030年と2050年の気候変動による超過死亡の予測



気候変動による 超過死亡者

脆弱なグループ

- 子供
- 高齢者
- 低所得国
- 都市部に暮らす貧困層の人々(スラムなど
- 先住民族の方
- 海岸線沿いに住む人々(島国など)

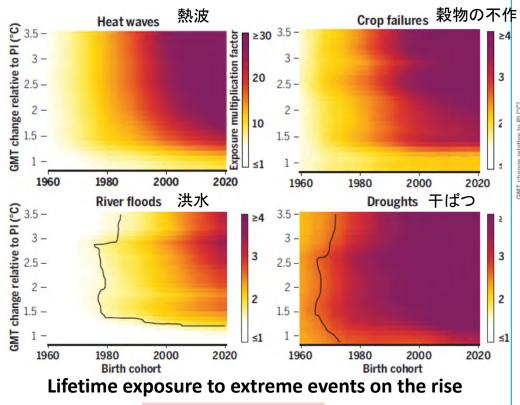
2030-2050

- 年間約25万人の超過死亡 (A1b シナリオ)
- 95,000 人は子供の栄養不足が原因
- 60,000 人はマラリアが原因
- 48,000 人は下痢が原因
- 38,000 人は高齢者の暑さによるもの

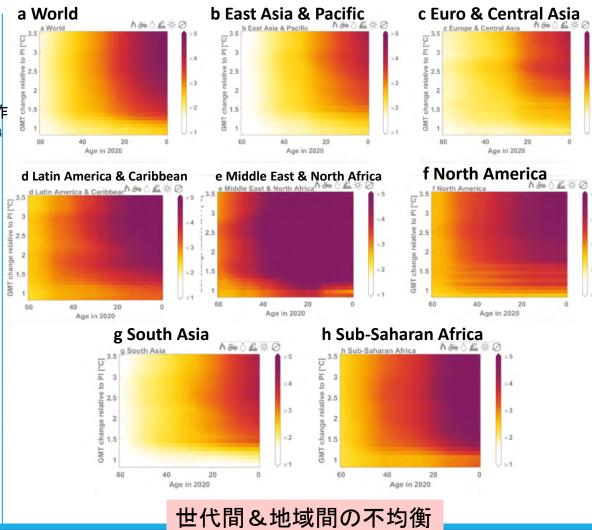
IPCC AR6 WGII Chapter 7 2022

様々なinequality:極端な気候現象への曝露における世代間の不平等

産業革命以前 (PI) の基準期間 と比較して 2100 年に世界平均気温 (GMT) の異常値が 0.87°C から 3.5°C に達するさまざまな地球温暖化軌道における出生コホート間の曝露乗数係数



世代間の不均衡



Thiery et al., "Intergenerational inequities in exposure to climate extremes", Science 2021

気候要因による健康への影響に関する 研究の実施している地域の不均衡

HDI(人間開発指数)が非常に 高い国では100万人あたり <u>6.89件</u>の研究

HDIが中程度の国では100万 人あたり<u>1.61件</u>

HDIが低い国では100万人あたり1.51件の研究

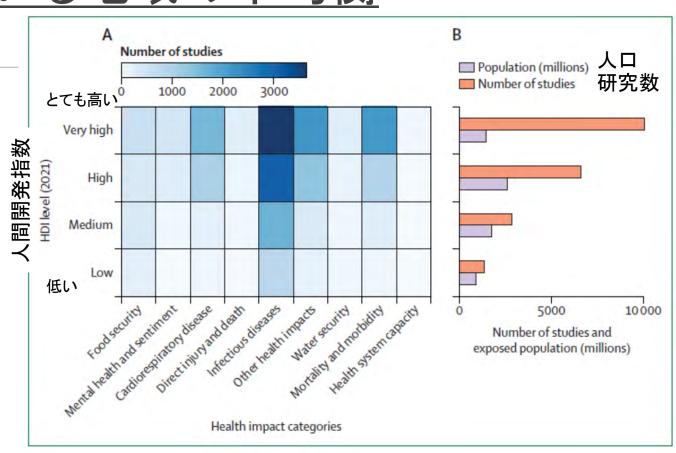


Figure 15: Studies linking health impacts to attributable climate changes

(A) Studies linking health impacts to attributable climate changes by topic area, grouped by HDI level. (B) Number of studies linking health impacts to attributable climate changes and number of people (millions) exposed to attributable climate changes in countries grouped by HDI level. HDI=Human Development Index.



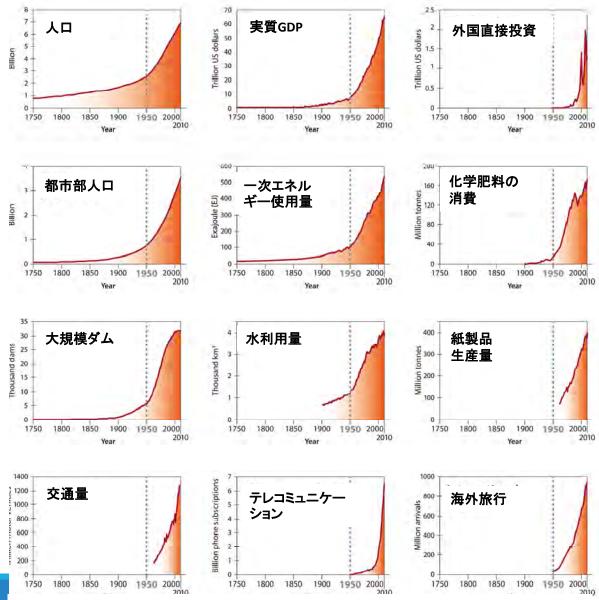


図 1750年から2010年における社会経済開発指標の世界的傾向

人類活動の巨大な加速 (グレートアクセラレイション)

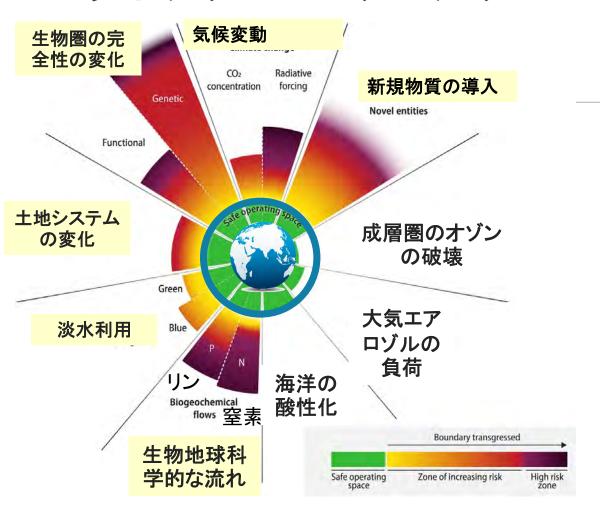
人類活動の巨大な加速期では、地球 の自然システムに対する人間の影響 がほぼ指数関数的に増加。

地球のサイズを再認識 しなければならない



Myers Lancet, 2017

プラネタリー・バウンダリー



プラネタリー・バウンダリーの概念は、 人類が将来の世代にわたって発展 し繁栄し続けることができる9つのプ ラネタリー・バウンダリーを提示。

- 2009年には、相互にリンクした9つ の惑星の境界システムのうち3つが すでに境界を超えている。
- 2022年の更新版では、9つの境界 のうち6つが境界を超えている。

Figure 境界の向こう側。内側の緑の陰影は、9 つの地球システムに対して提案されている安全な運用空間を表している。赤いバーは、各変数の現在の位置の推定値を表す。

Planetary Health プラネタリーヘルス(地球の健康)

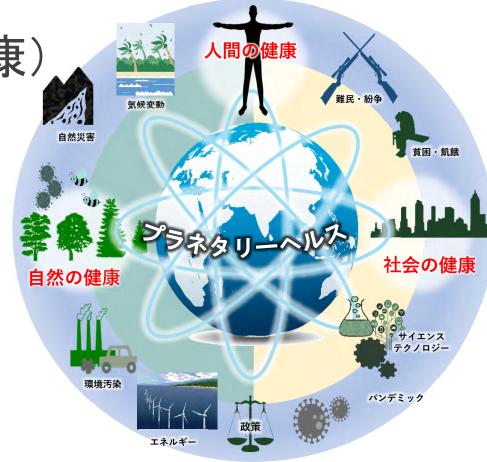
~森羅万象のいのちをはぐくむ~

プラネタリーヘルスとは、**人間の健康と地球の健康が独立ではなく、相互依存によって成立**しているとの認識をもって人間の政治・経済・社会のあり方を注視しつつ、**最上の健康・ウェルビーイングと公正性を実現**することです。

いま私たちは安全に利用できる境界線を越えて地球資源を利用 し、またその公平な分配においても多くの側面でその境界線を すでに超えています。

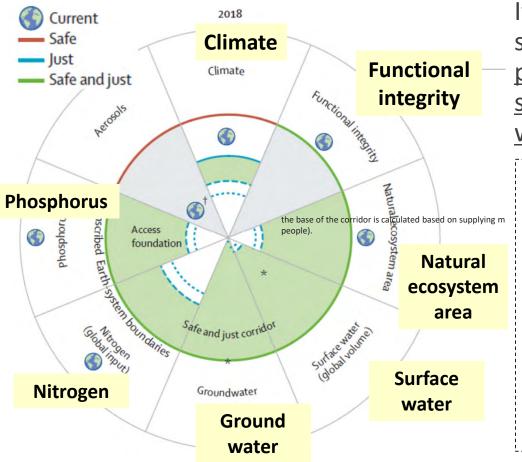
そして気候変動を含め、変化をし続ける世界において、**人間と 地球との持続可能な関係を確立するための研究、教育と行動の 枠組みを提供**しようとしているのが、プラネタリーヘルスです。

- 様々なつながりの中での私たちの健康
- 「人の健康」「社会の健康」「自然の健康」すべてをとらえる



プラネタリーヘルスは、2015 年にロックフェラー 財団とThe Lancet のプラネタリーヘルス委員会が その翌年Lancet 誌に発表した報告書『人新世にお ける人間の健康の安全防護策』 で提唱し、その概 念が急速に普及 安全と正義に関するプラネタリーバウンダリー(地球の境界線)

Safe and Just Earth system boundaries



Quantification of the safe and just corridor in 2018

J. Gupta et al. The Lancet Planetary Health (2024)

It presents quantifiable numbers and a solid scientific foundation to assess the state of our planetary health not only in terms of Earth System stability and resilience but also in terms of human wellbeing and equity / justice."

The '31' justice criteria used to analyse safe Earth System Boundaries (ESBs)

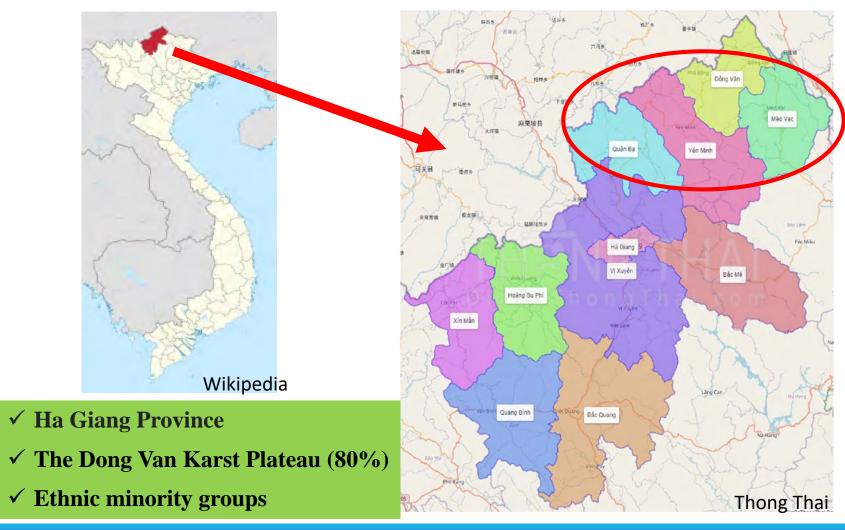
- (I1): 'interspecies justice and Earth system stability'
- (I2a) 'intergenerational justice' between past and present generations
- (I2b): 'intergenerational justice' between present and future generations
- (I3): 'intragenerational justice' between countries, communities and individuals through an intersectional lens.

J. Rockström et al. Nature (2023) (Published online: 31 May 2023)

Seven of the eight global-scale safe and just ESBs have already been crossed



気候正義への挑戦:ベトナムハザン省での気候変動による健康影響調査





Hanoi 320km Dong Van 155km



ベトナムハザン省 イエンミン県 2024.09.16撮影



Microbiological testing





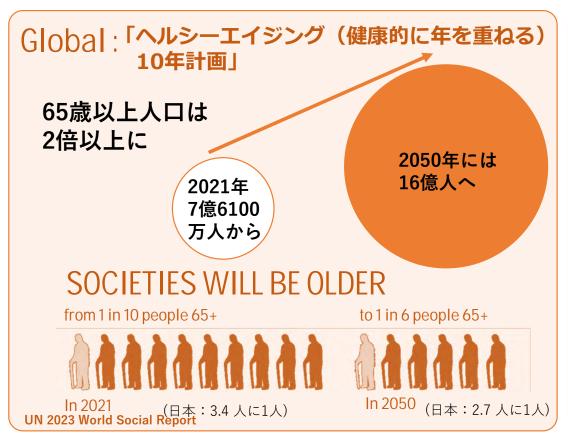


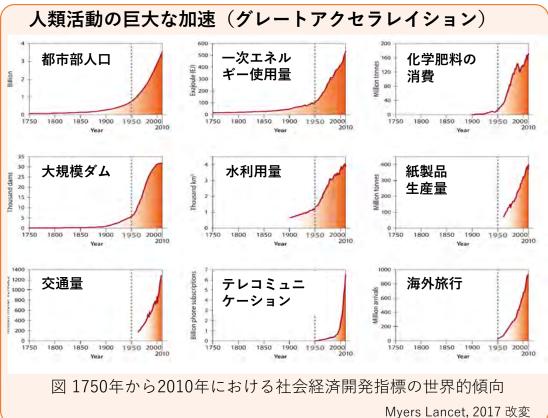
プラネタリーヘルシーエイジングの地域実践



Community-oriented practice for planetary healthy aging

広島大学 IDEC国際連携機構 プラネタリーヘルスイノベーションサイエンスセンター(PHIS) 鹿嶋 小緒里、丸山 史人、藤原 章正、李 漢洙、保坂 哲郎





プラネタリーヘルシーエイジング (Planetary Healthy Aging: PHA)

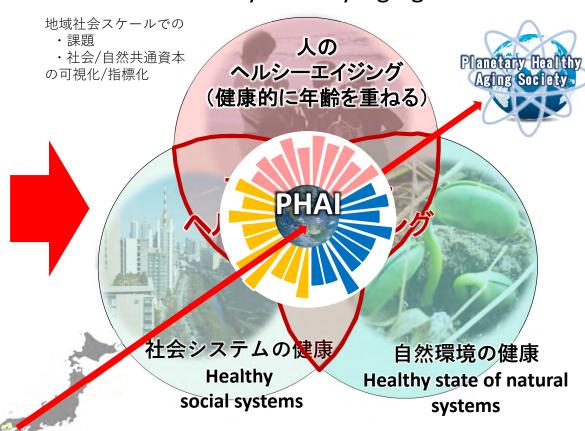
世界的な取り組み:プラネタリーヘルス



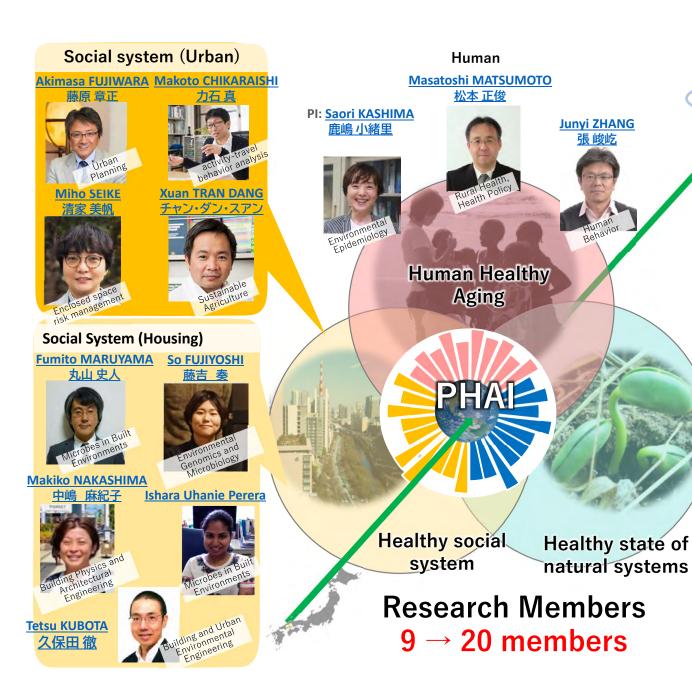
Planetary Health とは:

「人間・社会・自然生態のトータルな健康」を地球規模で目指す概念であり、2014年より世界の科学者が提唱し参画 →「新しい融合科学」への挑戦

我々の研究: Planetary Healthy Aging Index の開発



「ヘルシーエイジング」の文脈では、「人」「社会」「自然生態」の 領域は部分的に相反関係あるいは非線形な関係にある。 こうした課題の止揚 "地球ともに歩むヘルシーエイジング (Planetary Healthy Aging: PHA)"を見出す







Natural systems (Ecology)



プラネタリーヘルス Cafe & Bar

お知らせ
PLANETARY
HEALTH
ALLIANCE
JAPAN HUB

(July 12 2024) More than 30 members joined!

• **目的:** Planetary Health (PH) に関する情報を共有し、いろいろとあるPH ネットワークをつなげていくことを目的にしています。

• **スタイル:** この Cafe & Barでは、コーヒーやお酒を片手に、 PHの 実践・実装について気軽に話し合い、そして実際に行動を一緒に起こしていきます。学生の皆さん、社会人の皆さん、PHに興味ある皆様どなたでも参加可能です。フルオンラインです。

• 主催: Planetary Health Alliance Japan Hub (https://phajapan.jp/)



開催日程: 毎月第4木曜日 19:30-20:30

次回:2025/1/30

